

2019年6月より

禁煙外来

を開始しました

毎月第1・3火曜日の午前外来
(予約制)で禁煙外来を
開始しました。

タバコをやめたいと思って
いるけど、なかなかやめら
れない。。。条件を満たせ
ば、健康保険で禁煙治療
ができます。貞刈医師によ
る禁煙サポートを受けて
みませんか？



さだかり のぶよ
貞刈 暢代 副院長



ご予約は内科外来まで

☎ 092-691-5508

当院はWHOのHPH(健康増進拠点病院)に
加盟し、数地内禁煙を実践しています

禁煙治療の流れ

①ニコチン依存症かどうかチェック！

ニコチン依存症のチェックをして、保険診療を受けら
れるかどうか確認します。

②一酸化炭素濃度の測定

あなたの息に一酸化炭素(タバコに含まれる有害物
質)がどれくらい含まれているか、確認します。

③「禁煙開始日」を決定し、禁煙宣言

医師と相談しながら、あなたの禁煙開始日を決定
し、「禁煙宣言書」にサインします。

④禁煙経験の確認とアドバイス

あなたの健康状態やこれまでの喫煙・禁煙歴をお医
者さんと確認します。ニコチン切れ症状の対処法な
ど、あなたに合ったアドバイスをもらうこともできます。

⑤禁煙補助薬の選択

禁煙補助薬の特徴と使い方の説明を受けて、あなた
に合った薬を選びます。

⑥通院2～5回目：禁煙継続のアドバイスや、 薬の効果や副作用のチェックを受けます

初回診察から2週間後、4週間後、8週間後、12週間
後に診察を受けます。初診から2週間後以降の診察
では、次の4点について確認します。

- 診察：喫煙(禁煙)状況の確認、体調チェックなど
- 一酸化炭素量の測定
- 禁煙を継続するためのアドバイス
- 禁煙補助薬の効果の確認、副作用の対応など

外来診療体制のご案内



6月より診療体制が変更になりました

受付時間／曜日		月	火	水	木	金
午前	[一般外来] 9:00～11:30	貞刈	光安	嶋田	梶原・小野	岩元
	[予約制]	×	第1・3 貞刈	×	×	×
			第4 春口 糖尿病外来			
		緩和外来	緩和外来	緩和外来	緩和外来	緩和外来
午後	[予約制]	×	×	×	第3 江島 パーキンソン外来	×

たたらリハビリテーション病院通信

みんなそろって

タラッタ

たたら

vol. 41
2019年7月号

2019年5月3日(祝) 今年も 博多どんたく港まつり に参加しました

当院は2008年の当初から「がん・バットン・元気隊」の一員として、雨天でパレードが中止になった2年間を除いて、毎年欠かさず緩和ケア病棟職員を中心に15～16名が参加しています。今年も院長はじめとして緩和ケア病棟職員や師長など、総勢16名で参加しました。



今年のどんたくは、晴天の青空の下、初夏のような日射しと気温でしたが、当院の名前入りのバルーンと一緒に、沿道の大勢の観客にガン予防の啓発のアピールを元気よく行いました。



※「がん・バットン・元気隊」は、福岡県内のがん患者会と支援団体のネットワークです。「元気隊」は2008年のどんたくパレードで「がん患者どんたく隊」として発足以来、緩やかな、しかし、しっかりとした絆を紡いできました。お互いの活動を尊敬し合い、報告し合い、必要な時は協力し合う。そんな、県単位でのがん患者会同士の深い交流は、全国でも珍しいと言われています。
(「がん・バットン・元気隊」ホームページより)



発行元／たたらリハビリテーション病院広報委員会
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66
TEL 092-691-5508 FAX 092-691-5634 e-mail: info@tatara-reha.jp
http://www.tatara-reha.jp



たたらリハビリテーション病院は、日本医療機能評価機構認定病院です。

たたらリハビリテーション病院

歯科の取り組み



文／歯科衛生士
吉田可奈子

たたらリハビリテーション病院の歯科は、2003年の病院開設時から、「高齢者が安心してかかる歯科」をめざしています。

当院の歯科患者さんは、2019年現在、地域住民の方が全体の7割、入院患者・いきいき八田入所者が全体の3割です。年齢層は70歳以上の方が5割と高齢者が多いのが特徴です。

入院時には、入院患者さん全員に歯科医師と歯科衛生士による「お口のチェック」(口腔内スクリーニング)

を実施しています。また、併設の特別養護老人ホーム「いきいき八田」の利用者さんの口腔チェックや、介護予防教室「よか体スタジオ」での歯科衛生に関する学習会、たたらリハビリテーション病院の病棟職員への口腔ケア研修や、義歯調整で口から食べる機能を向上させることによる生活機能改善など、口腔衛生や口腔内の健康維持のため、医科、歯科の連携を図り、日常活動を行っています。

入院時の医科歯科連携

入院患者さん全員に入院時の無料の歯科検診を実施しています。



入院 → 歯科検診(無料)



「お口の衛生状態」「虫歯・歯周病の程度」「義歯の状態」
「舌・粘膜の状態」「噛み合わせの状態」等チェック

歯科治療・ケア(保険診療) + 病棟職員による口腔ケア

入院中の歯科治療では、一般的な虫歯・歯周病治療、義歯作製、口腔衛生指導等に加えて、特に留意していることは「患者さんの全身状態・生活背景に合わせた口腔環境づくり」です。

【入院時のお口の例】

【治療後】

【Aさん】詰め物が取れたままになっていたが、歯医者に行く手段がなく困っていた。歯石も気になっている…



入院中に虫歯の治療を受け、快適に食事が取れるようになった。歯石も取ってスッキリ。安心して退院することが出来た。

【Bさん(家族より)】入れ歯が合っていないので気になる。上下総入れ歯で噛み合わせがあわず上手く食べられない。



義歯の調整をして、新しく義歯を作り直すことにより、安全に食事が出来るようになった。

歯や口腔の調子が悪いのに、歯科受診が出来ないままでは高齢患者さんが多い事も現状です。特に入院患者さんは全身状態の変化に伴い、お口の症状も変化し現れてきます。歯科治療(噛める状態を取り戻す)と同時に、お口を清潔に保つ事は、食べる意欲・生きる意欲に繋がっています。噛み合わせる歯・義歯があることは、体幹を支え脳への刺激を与えています。

また、日々の口腔ケアについては各病棟職員が患者さんの状態(自立～全介助)に合わせたケアを実施し衛生状態を保っています。(写真1.2) 歯科医師・歯科衛生士による学習会、個別指導により連携しています。口腔ケア用品もそれぞれの状態にあったものを揃え、衛生管理も徹底されています。

口から食べられず、自分では歯磨きが困難な方のお口の写真



写真1



写真2

写真1：根だけの歯や孤立した歯のケアが出来ていて歯肉の色も良く、口腔ケアの技術の高さを感じます。

写真2：ブリッジや欠損の隙間は汚れが残りやすい部分ですが、衛生状態も良く歯肉も潤っています。



外来歯科診療

外来受診の患者さんには、「噛んで食べる事」「メンテナンス」の重要性を伝え、患者さんの状態合わせた治療の継続をお勧めしています。大切に思うことは「食」です。「食」というのは乳幼児～高齢者まで人が生きる中で生活の軸になることだと思います。加齢とともに変化する体と同じようにお口も変化していきます。病気がないのに食べられない方が増えています。それは、食品が豊富な現代にあり、噛めなくてもなんとなく食べる(満たす)ことが出来るからです。また、人生の終盤に毎日お粥を食べ続けますか? 改めて食生活をふり返り、ご自分のお口と向き合ってみましょう。「お口」の変化は「体と心」に大きな影響を与えています。

メンテナンス

1～3 カ月毎の「定期的なお口のクリーニング」を、お勧めしています。歯科衛生士によるそれぞれのお口に合わせた専門的な口腔清掃を中心に噛み合わせ・虫歯のチェックをします。メンテナンスによりお口の細菌を減らし、コントロールすることでお口のトラブルを予防し、何でも食べられるお口を維持することが可能です。数年間歯科を受診していない、気になるけどちょっと…と思う方や義歯でお困りの方も外来受診を受け付けています。是非、歯科検診をお勧めします。

